

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館 文化財エリアのIPMメンテナンス等業務 一式	
契約締結日	平成26年3月19日	
契約の相手方の商号又は名称等	NPO法人ミュージアムIPMサポートセンター	
入札経緯及び結果	平成26年2月25日 入札公告	
	平成26年3月12日 関係書類提出締切	
	平成26年3月19日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	人員を確保しやすいよう、業務の実施回数は月1回を基本とした。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を約2週間確保した。
③公告期間の見直し	×	仕様の見直しを早める等、公告期間の確保に努める。(15日間)
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書の交付は受けたが入札には参加しなかった業者に、理由等をヒアリングしたところ、「当館の仕様を満たした上で、安価な入札額を提案することが困難」と判断したとのことであった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
早期の仕様策定及び十分な公告期間と準備期間の確保に努めることとしたい。		
契約監視委員会のコメント		
公告期間については、法人の自主目標(20日間)を確保されるよう努められたい。 その他については、法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	事前公募型随意契約	
契約の件名及び数量	「MUSEUM 東京国立博物館研究誌」印刷請負業務	
契約締結日	平成26年3月3日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社中央公論事業出版	
入札経緯及び結果	平成25年12月5日 公募公告	
	平成25年12月25日 関係書類提出締切	
	平成26年3月3日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本業務における成果物は書店等を通じて販売しているものであり、大幅な仕様変更は難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前年度より4ヶ月早く公告した。また、20日間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に参加表明をした業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	事前公募型随意契約	
契約の件名及び数量	奈良国立博物館ネットワークシステム等保守一式	
契約締結日	平成26年2月24日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日立ソリューションズ関西支社	
入札経緯及び結果	平成26年1月17日 公募公告	
	平成26年2月7日 関係書類提出締切	
	平成26年2月24日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	今後は見直しを検討する。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を4週間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に参加表明をした業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注) 1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	事前公募型随意契約	
契約の件名及び数量	装飾古墳データベース改修等業務 一式	
契約締結日	平成25年12月4日	
契約の相手方の商号又は名称等	一般財団法人日本地図センター	
入札経緯及び結果	平成25年11月7日 入札公告(公募)	
	平成25年11月28日 関係書類提出締切	
	平成25年12月4日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存のデータベースの改修業務であり大幅な仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を4週間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書の交付は受けたが、参加しなかった業者に、理由等をヒアリングしたところ、「既存のデータベースを熟知していないため、参加は困難」と判断したとのことであった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な公告期間と準備期間の確保に努めることとしたい。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注) 1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。